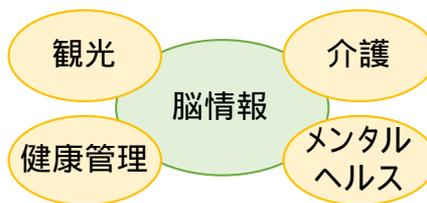


脳情報可視化制御システム

説明:これまで専門家にしか扱われてこなかった脳情報について、実フィールドで利用可能な可視化制御システムに関するモデルケースを提供可能。様々なフィールド実証を通じた脳情報のフィジビリティスタディにより産業化を志向。



山川義徳 P M
『脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現』

モデルケース

脳情報コンテンツ評価システム「Neurodesign」

脳機能計測 (fMRI) を用いることで、自治体におけるストレスを軽減する景観の設計や心を癒す観光資源の評価など多次元の印象評価が可能なデータベースシステム



モデルケース

脳ドッククラウドシステム「MICCS」

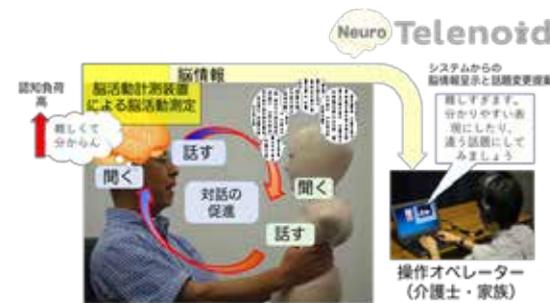
脳の検診サービスを行っている脳ドック施設に対して、無症候性の白質病変を定量化し、自治体における健康管理や疾患予防の情報を提供するクラウドシステム



モデルケース

脳情報可視化コミュニケーション支援システム「NeuroTelenoidCare」

介護施設において、会話中の高齢者の脳活動を可視化することで、介護士や高齢者家族が高齢者が分かりやすい話し方・話題を学び、コミュニケーションを促進するシステム



モデルケース

脳波計を用いた脳状態可視化システム

メンタルヘルスに関わる脳機能ネットワークの状態を脳波からリアルタイムに推測し、PC画面上に表示するシステム

